

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 ステラ		公表日 2025年 3月 25日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			・利用希望者が増えてきているため、訪問支援員の増員は必要。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・日々の口頭でのやりとりは大切にしている。	・法人内の子ども園の利用児童が多く、園との連携が図りやすいが、話をする時間が十分ではない。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・保護者へアンケートを配布している。	・保護者からの意見等については、職員間でも共有を行い、改善につなげていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・日々の口頭でのやりとりは大切にしている。	・全体での共有する時間が十分ではない。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	・サービス向上委員会への参加。	・委員会での意見も参考にしながら、業務の改善につなげていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・web上の研修も活用している。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		・職員で話しあい、作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・職員で話しあい、作成している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・訪問の際には訪問先の園や担任の意向も確認しながら調整を行っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			・計画にあった支援ができていないか、見直す時間は必要。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			・計画にあった支援ができていないか、見直す時間は必要。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			・十分にもっていない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			・十分にもっていない。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・訪問支援員の考えを押し付けることはせず、クラスの保育のやり方を踏まえて、その子にあった支援方法を一緒に考えている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			・支援の振り返りや検証が十分にもっていない。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・半年に1回、モニタリングを行い、クラス担任とも話をする時間を設けている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・対象児童がいる際には参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・こども園、一時保育と連携を図っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		・外部講師を招いての勉強会は月1回実施している。	・外部研修には行く機会が少なく、今後も研修内容を見ながら、適宜、受講できる機会を大切にしていける。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1	・区の子ども支援部会に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		・情報の提供は行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・利用の際には丁寧に説明を行うようにしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		・丁寧に説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・モニタリングの中で、子どもや保護者の意向も確認しながら、支援計画書に反映させている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		・どの保護者に対しても作成した支援計画書の内容を説明した上で、交付している。	・今後も丁寧な説明を心掛けていく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	1	・保護者から相談等があった際には、その都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		・保護者会を開催し、保護者同士の交流の機会を設けている。	・時期や開催頻度については、検討の必要がある。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		・通信を定期的に発信している。	・記載内容や記載方法については、工夫を行っていき、わかりやすく見やすいものを作成していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・鍵付きのロッカーで保管している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・視覚支援（絵カードや写真）の活用。	・子どもにあった支援の方法を今後もクラスと一緒に考えていく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		・訪問先からの相談等があった際には、職員間でも共有し、一緒に考え、対応するようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	1		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		・報告書を作成し、訪問時の様子をお伝えしている。	・今後も表現の仕方には注意しながら、丁寧に記載することを心掛けていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・個人情報については、最大限留意している。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスとも一緒に考えながら、訪問支援員からの視点での助言も行っている。 ・園とのよい関係を築けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップは必要。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。 	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練を行っている。 	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの情報は共有し、再発のないように職員の配置や役割分担について話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員によりヒヤリハットの捉え方にちがいがある。些細な事であっても感じたことをオープンにすることで、大きなケガや事故を防止することにつなげていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、虐待防止の研修を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を今後も継続して行う中で、虐待や身体拘束についての知識を習得し、理解を深めていく。 ・チャックリストの活用をする中で、日々の支援の見直しを行う。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			